

金も、フラクナも、原油も、ガソリンも、大豆も、トウモロコシも、コメも、ゴムも、

Presented by
東京商品取引所
大阪堂島商品取引所
日本商品先物振興協会

とにかく**コモディティ**が おもしろい!

第13回 C X市況講演会

コモディティの各分野に精通したプロフェッショナルが
気になる商品市況の“いま”を語る。

受講料
無料

先着
100名様

日時

7月15日(火) 17:30~19:40 (17:00 開場)

会場

東京商品取引所 (東京都中央区日本橋堀留町1-10-7 地図参照)

お申込

お取引先の**商品先物会社** 外務員 または
[日本商品先物振興協会広報部 \(03-3664-5731\)](mailto:info@jcfpa.com)

講師と演題

第一部

石油

『石油スプレッド取引の魅力』

講師: 橋本 和典 (岡地株式会社エネルギー一部部長)

17:30

原油を精製して作るガソリン、灯油、軽油——石油製品の価格変動には関連性がある。その性質を利用して、リスクを抑えながら取引するのがスプレッド取引(サヤ取り)の妙味だ。ただし、そのスプレッド取引をうまく使いこなすためには多少のコツがある。そのコツを、石油市場の最前線で活躍する岡地(株)エネルギー部の橋本氏が説明する。

18:00

第二部

コメ

『コメ相場の変動要因』

講師: 平 丞 (株)米穀データバンク データ管理部長)

18:00

コメ相場の変動要因は需給環境やコメ政策、天候など様々。26年産米の相場水準も過剰基調の下で、不透明な状況になっている。その中で、コメ先物市場では6カ月先の値段まで形成されており、4月からは新米対象の限月も発会している。今後、26年産米の価格はどう推移していくのか。生産・流通・消費等のファンダメンタルな要素が重要になる。

18:30

第三部

リスク管理

『伝説の外務員が語る、
投資家に相場を勝たせる4つのポイント』

講師: 小次郎講師 (チャート研究家)

18:40

相場は勉強と工夫次第でだれもが勝ち組に入れる可能性を秘めている。ファンダメンタルズ分析やテクニカル分析を学ぶことは重要。しかし、そうしたテクニックよりも、より重要なのが取引に際してルールを決めること、そして過去の取引を検証することだ。大切なお客様が喜ぶ顔を目にしたい。だから自らが学んで、お客様に適切なアドバイスをさしあげたい。そのための技術をチャート研究家であり、かつて「伝説の外務員」と呼ばれた小次郎講師がわかりやすく、楽しく解説する。トレードエッジとはなにか、リスク・リワード比率とはなにか、それらをどう使いこなすのか。新たな視点で相場を眺めれば、いままで以上に相場が楽しくなる。

19:40



△ 東京商品取引所

- 東京メトロ日比谷線、小伝馬町駅 1,3番出口より徒歩5分
- 東京メトロ日比谷線、都営浅草線、人形町駅 A5出口より徒歩7分



△ 小次郎講師